



信金中央金庫

SCB

SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所 ニュース&トピックス (2016. 9. 1)

〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048
URL <http://www.scbri.jp> e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

信用金庫の貸出金利回りの動向

とね かずゆき
刀禰 和之

ポイント

- 信用金庫の平成 27 年度の貸出金利回りは、前期比 0.10 ポイント低下の 1.83% となり、8 年連続で前期を下回った。
- 業態別の貸出金利回りをみると、地方銀行は 1.31%、第二地銀は 1.53% となり、前期から低下した。各業態とも 19 年度を直近のピークに低下方向にある。
- 27 年度の地区別の貸出金利回りは、全 11 地区で前期から低下した。地区別の利回り水準は、南九州の 2.56% から東海の 1.55% まで開きがみられる。
- 27 年度の都道府県別の貸出金利回りの状況は、10 県が 2.4% 以上あった。その一方で 3 県は 1.6% 未満となっている。
- 27 年度中の信用金庫別の貸出金利回りは、252 金庫で前期比低下した。利回りの上昇した 9 金庫は北海道から九州北部まで広く分布していた。
- 信用金庫別の貸出金利回りの分布をみると、①1.6% 未満が 25 金庫、②1.6% 以上 2.0% 未満が 135 金庫、③2.0% 以上 2.4% 未満が 71 金庫、④2.4% 以上は 34 金庫となった。

1. 貸出金利回りの状況

(1) 利回りの推移

平成 27 年度の貸出金利回りは、前期比 0.10 ポイント低下の 1.83% となり、8 年連続で前期を下回った (図表 1)。信用金庫の貸出金利回りは、市場金利の低下などを受け、17 年度から 0.68 ポイント低下している。

一方、27 年度の預金利回りは前期並みの 0.08% だったことから、預貸金利回り差は 0.10 ポイント低下の 1.73% にまで縮小した。

(2) 業態別の利回り

27 年度の業態別の貸出金利回りは、信用金庫の 1.83% に対し、都市銀行が前期比 0.08 ポイント低下の 1.08%、地方銀行が 0.08 ポイント

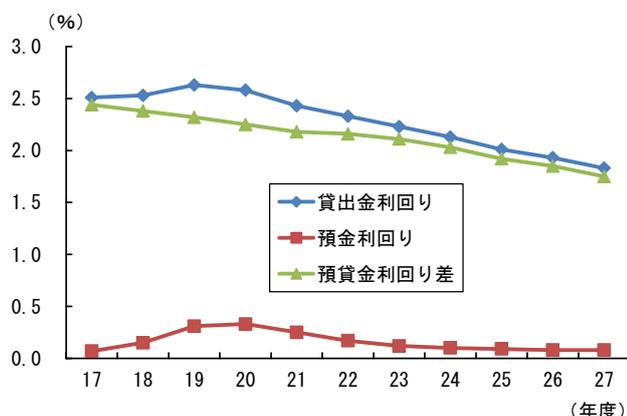
低下の 1.31%、第二地銀は 0.10 ポイント低下の 1.53% となった (図表 2)。

27 年度の貸出金利回りは日本銀行のマイナス金利政策の影響期間が短かったものの、28 年度は年間を通じて影響を受けるため、貸出金利回りのもう一段の低下が懸念される。

2. 地区別の状況

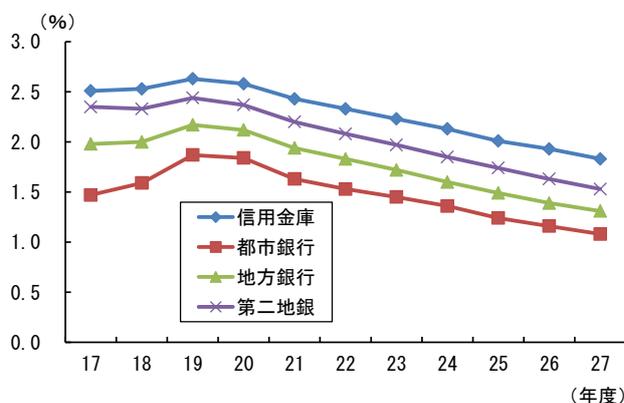
27 年度の地区別の貸出金利回りは、全 11 地区で前期から低下した (図表 3)。北陸の低下幅が 0.16 ポイントとなり、それに四国 (0.11 ポイント低下) が続く。地区ごとの貸出金利回りは、南九州の 2.56% から東海の 1.55% まで開きがみられる。

(図表 1) 貸出金利回りの推移



(備考) 本稿では他業態との合併等は考慮していない。

(図表 2) 業態別の貸出金利回りの推移



17年度から27年度の変化幅をみると、全11地区で貸出金利回りが低下しており、なかでも東北(0.80ポイント低下)、四国(0.77ポイント低下)、北陸(0.75ポイント低下)などが目立つ。

3. 都道府県別の状況

27年度の都道府県別の貸出金利回りの分布状況は、2.4%以上が10県あった。その一方で、1.6%未満の都道府県は3県あった。

17年度から27年度の変化幅をみると、47都道府県の全てで利回りが低下しており、なかでも1%超の低下が2県あった。

4. 信用金庫別の状況

(1) 27年度中の変化

27年度の信用金庫別の貸出金利回りの変化状況は、①上昇が9金庫(構成比3.4%)、②低下が252金庫(95.8%)、③変化なしは4金庫(1.5%)となった(図表4)。

年間を通じて利回りの上昇した9金庫は、北

海道1金庫、東北2金庫、東京1金庫、関東1金庫、東海1金庫、近畿2金庫、九州北部1金庫であった。

(2) 利回りの分布

27年度の信用金庫別の貸出金利回りの分布状況を見ると、①1.6%未満が25金庫(構成比9.4%)、②1.6%以上2.0%未満が135金庫(50.9%)、③2.0%以上2.4%未満が71金庫(26.7%)、④2.4%以上は34金庫(12.8%)となった(図表5)。さらに2.8%以上の貸出金利回りの信用金庫を抽出すると、合計13金庫あった。これら13金庫の本店所在地区は、東北3金庫、近畿1金庫、四国1金庫、南九州8金庫となる。

17年度の構成比と比較すると、1.6%未満がなし(0金庫)から9.4%(25金庫)となった。その一方で、2.4%以上は75.0%(219金庫)から12.8%(34金庫)に急低下しており、この10年間の利回り低下ピッチの速さがうかがえる。

以上

(図表3) 地区別の貸出金利回り

地区	17年度	26年度	27年度	(参考27年度末)					
				17年度対比	26年度対比	預貸金利回り差	住宅ローン比率	カードローン等比率	地公体向け貸出比率
北海道	2.42	1.93	1.85	△0.57	△0.08	1.79	18.0	0.6	19.9
東北	2.95	2.24	2.14	△0.80	△0.09	2.09	17.7	2.9	15.0
東京	2.51	1.95	1.86	△0.64	△0.09	1.80	20.9	0.2	0.4
関東	2.58	1.94	1.83	△0.74	△0.10	1.77	26.6	0.8	7.8
北陸	2.49	1.91	1.74	△0.75	△0.16	1.67	22.6	1.2	19.8
東海	2.19	1.66	1.55	△0.63	△0.10	1.45	29.8	0.6	7.8
近畿	2.50	1.94	1.84	△0.65	△0.09	1.71	23.3	0.7	9.0
中国	2.66	2.07	1.96	△0.69	△0.10	1.90	20.8	1.4	9.4
四国	3.13	2.47	2.36	△0.77	△0.11	2.18	22.2	3.1	7.2
九州北部	2.73	2.21	2.12	△0.60	△0.09	2.05	23.5	1.5	5.3
南九州	3.23	2.65	2.56	△0.67	△0.08	2.50	15.6	2.5	8.2
合計	2.51	1.93	1.83	△0.68	△0.10	1.74	24.0	0.8	7.8

(備考) 沖縄県は合計に含む。

(図表4) 信用金庫別の貸出金利回りの変化(27年度中)

(単位: 金庫、%)		
上 昇	9	3.4
0.1ポイント以上上昇	1	0.3
変 化 な し	4	1.5
低 下	252	95.8
0.1ポイント超低下	109	41.4
0.2ポイント超低下	5	1.9
0.3ポイント超低下	1	0.3
合 計	265	100.0

(図表5) 信用金庫別の貸出金利回りの分布

